

令和2年度 当別・新篠津ブロックの研究

研究主題

健康について考え、心豊かに自分らしく生きる子どもの育成をめざして
～事例交流を通して、よりよい保健室対応について検討する～

主題設定の理由

近年、子どもの健康課題は多様化・複雑化しており、保健室でも対応の難しい事例や長期的に支援が必要な事例がみられ、養護教諭として一層きめ細かな対応が求められるようになってきた。

そこで、日常の児童生徒の様子や対応した事例から、子どもたちの気になる様子や健康課題について情報を共有し、保健室対応を中心とした、解決に向けての取り組みや手立てを検討することを本研究の目的とした。

実際の事例から、養護教諭が対応に苦慮した点や感じた課題について共有し、支援方法について検討することで、各校での日常の実践に生かすことができると考える。また、それぞれの知識や経験だけでなく、文献や資料をもとに話し合うことで、明確な根拠のある支援方法を検討することができると思う。

子どもが自らの健康課題について考え、行動していくために、養護教諭としてどのような支援ができるか研究を深めたい。

研究の仮説

- ・各校の事例を検討することで、昨今の子どもの健康課題をつかむことができる。
- ・事例をもとによりよい支援方法を検討することで、保健室対応の質を高めることができる。
- ・文献や資料などから学び、支援方法を検討することで、保健室で行う対応の一つひとつに根拠を持たせることができる。

研究の内容

(1年次) *今年度

- ・各校の事例を検討し、子どもの健康課題の実態を把握する。
- ・事例をもとに支援方法を検討することで、自校の実践に生かす。
- ・事例交流をもとに、関連する文献や資料を持ち寄り、情報交流を行う。

(2年次)

- ・1年次の内容を深め、子どもの健康課題を解決するための取り組みや手立てについて検討する。

研究の方法

- ・各校の事例検討を行う。
- ・理論研、実技研のいずれかを行う。